

会 議 録 (概 要)

1 会議名	第2回和島地域コミュニティ検討委員会
2 開催日時	令和元年7月9日(火) 19:30～21:00
3 開催場所	和島保健センター1階「検診ホール」
4 出席者名	<p>【委員】9名</p> <p>中村 義久 委員 佐々木 清 委員 佐々木理江子 委員 中村 陽子 委員 平澤 勝司 委員 早川 亜由美 委員 菊地 恵美子 委員 早川 昌美 委員 久住 博 委員</p> <p>【長岡市】</p> <p>棚橋和島支所長(途中退席) 市民協働課コミュニティ推進係 勝沼係長 事務局</p> <p>宮田地域振興課長 池田係長 結城総括主査 池田主査</p> <p style="text-align: right;">(非公開)</p>
5 欠席者名	なし
6 議題	<p>(議題)</p> <p>(1) 正副委員長の選出について (2) 和島地域コミュニティ組織の検討について (3) 今後の予定について</p>

7 会議結果 の概要	<p>(1) 正副委員長の選出について 委員長 中村義久委員 副委員長 菊地恵美子委員 を事務局で提案し承認</p> <p>(2) 和島地域コミュニティ組織の検討について コミュニティセンターと組織について説明。 資料3「和島コミュニティセンター(仮)開設と運営組織の構成 【案】」の精度を上げて次回会議で部会構成・部会構成団体を 検討する。</p> <p>(3) 今後の予定について 和島コミュニティ協議会の組織を年度内をめどに完成させる。 他のコミュニティセンターを見学する。</p>
8 内 容	
事務局長	<p>【1開会】 <<省略>></p>
和島支所長	<p>【2あいさつ】 <<省略>> ※あいさつ後退席</p>
事務局長	<p>【3議題】 (1) 正副委員長の選出について 議題の(1)、正副委員長の選出を行います。委員長が決まるまでは事務局で会議を進行します。正副委員長の決め方にご提案、立候補はありますか。 <<発言なし>> それでは事務局の案ですが、委員長に中村義久委員、副委員長に菊地恵美子委員を推薦いたします。 <<拍手>> 委員長に中村義久委員、副委員長に菊地恵美子委員が選任されました。それでは中村委員、菊地委員には席を移動していただき、一言就任のごあいさつをお願いします。</p>
委員長	<p><<あいさつ省略>></p>
副委員長	<p><<あいさつ省略>></p>
事務局長	<p>これより委員長が議長となり議事の進行となります。中村委員長お願いします。</p>
委員長	<p>前回欠席された方もいるので、改めて各委員から自己紹介をお願いします。 <<自己紹介>></p>
委員長	<p>(2) 和島地域コミュニティ組織の検討について 議題(2)「和島地域コミュニティ組織の検討について」、事務局から説</p>

<p>事務局</p>	<p>明をお願いします。</p> <p><<説明省略>></p>
<p>委員長</p>	<p>資料のコミュニティ組織案を見て、これで組織がすぐできると思った。この組織案が用意されているという事は、与板のコミュニティもこの形なのだと思うし、長岡市はこれが一番良いと考えているのだろう。この案から和島地域で活動している団体をこの組織図に当てはめていくと思っているが、それだけでいいのかと疑問がある。資料のコミュニティ組織案は、事務局がこのようにできれば良いと考えたもので、長岡市がコミュニティセンターを立ち上げるために、条例を作り各地域にコミュニティセンターができた。和島もコミュニティセンターをつくることになるが、コミュニティセンターを作るときに「創意工夫による運営ができます」「コミュニティの活動が継続して行われます」と言われるが、誰がコミュニティセンターを運営するのか、誰がどうやって活動を継続するかを疑問に感じていた。そこを検討委員会で検討するんだと理解できた。事務局から検討委員会はこの後に続く準備委員会に進むための準備をすると説明を受けたが、では検討委員会の目的や何を検討するのかがわからない。その辺を再度事務局から詳しく説明してもらいたい。</p>
<p>事務局長</p>	<p>資料の「和島地域コミュニティ検討委員会開催要項」には、検討委員会の目的が書かれている。それとスケジュール案に「決めること」と書かれた①から④までの項目を検討委員会で検討し、決めてもらいたい。内容をすぐに理解することは難しいので、詳細は事務局が説明しながら進めたいと考えている。また、部会構成など組織案の細かなところはもう少し勉強しながら進める必要もあり、活動団体を集めてコミュニティ組織を理解してもらおうことも考えている。コミュニティセンターは、地域の活性化、元気な地域づくり活動を実行する一つの手法であるが、コミュニティセンターができてすべてが解決するものではない。コミュニティセンターが行政と連携したり、または行政に代わるものになるのであれば、地域住民がコミュニティセンターに集まって、自ら考え、自由に活動し協働する拠点になる。行政の対応にも限界が見え始め、これからは行政が何でもすることはできなくなるが、住民からの要望はどんどん増えて、住民と行政が一緒になって地域を良くしていくという行動が必要になってくる。</p>
<p>委員長</p>	<p>コミュニティ検討委員会は、この後のコミュニティ準備委員会に引き継ぐモノを作ってバトンタッチする組織と理解できた。決めることはコミュニティセンターの「設置場所」「組織と構成員」「規約案」「活動内容」と事務局から説明があったので、コミュニティ組織の骨組みを作ってくださいということと理解した。コミュニティセンターの設置場所というのは最後に考えることにして、決めなければならないのは「組織と構成員」になると思う。資料の組織図では部会は3つだが、和島は3つでいいのかなど掘り下げていかないと組織はできない。運営委員会など部会より上の方はどうでもいいが、和島の場合はどのような部会を作るのか、そこにどういう和島の活動団体が当てはまるのか、骨組みを検討していくことになる。</p>

事務局長	組織案などの資料は、コミュニティセンターができた地域を参考に用意した。この形でなければならないというものではない。検討して違う形になっても構わない。
委員長	資料は与板コミュニティセンターを手本にしたようである。たぶん長岡市のコミュニティセンターのほとんどがこの形だと思われる。ここで検討することは、例えばスポーツで活動する団体はどここの部会に入るかを考えることで、「花いっぱい」活動をしている団体とスポーツ活動の団体を一緒の部会にするようなことにはならない。具体的な話をすると(資料3)運営組織の構成案の(図の左)地域の主なコミュニティ組織を(図の右)部会にどのように当てはめていくかという事になる。組織図の上の方は部会をまとめている部分なので、実際に動くのは組織図の下段の部会が中心になる。まずは組織図の下段、部会から決めることにして、検討委員会でどのような部会が必要か検討することになる。コミュニティセンターを設置する場所は、検討委員会でどこにという話は我々にはできないと思っているが、一番に組織と構成員と活動内容を考えて、活動内容に合った組織と構成員を構築することを委員のみなさんと検討することになる。
委員(平澤)	事務局の運営組織案では和島は3つの部会にまとめてある。しかし、与板コミュニティセンターには4つの部会がある。また、和島はスポーツと文化を1つの部会にしているが、与板はスポーツと文化を切り離している。スポーツに携わる人と文化に携わる人では考え方が違うと思うし、1つの部会にしても話がうまくまとまらないのではないかな。
委員長	事務局の組織案など変えてもいいと説明があったので、部会の構成から検討を始める。資料の活動団体はすべて網羅されたものなのか。
事務局	すべてではない、漏れているものもある。
委員長	では資料にない組織や団体も考えて、今和島にある団体が漏れなく受け皿になる組織や部会にする必要がある。
事務局(勝沼)	コミュニティセンターを運営する中で部会は大事である。部会は独自に活動を考え企画して実行していく組織になる。今は少子高齢化、人口減少などの問題やライフスタイルの多様化、人のニーズも多様化しているが、行政はそれに対応できずに一律な対応やサービスを提供し続けている。これからは、それぞれ地域に適した対応が必要とされ、その解決にコミュニティ組織や活動が重要になってきた。行政の一律な対応に加えて、地域の問題や特性に応じた解決策を地域と一緒に考える、そのための拠点として長岡はコミュニティセンターやコミュニティ組織に力を入れている。今和島地域で必要な活動は何か、どういうところに力を入れていくと和島の特性が活かされるか、和島の課題が解決できるかなど、そのためには何をやらなければならないかを考えてもらおうと、その活動がやりやすい組織の作り方が見えてくる。長岡にはスポーツと文化が一緒のコミュニティ組織もあるし、一緒になってもそれがやりやすいところもあれば、スポーツは別にして組織を作る方が事業が進めやすいところもある。和島地域でどんな事業が必要かを考えて、それを実行しやすい組織や部

	<p>会を考えることになる。また、和島地域で活動しているすべての団体がコミュニティ運営組織の構成員になる必要はなく、たとえ部会員でなくても協力団体として一緒に活動に参加してもらおうというやり方もある。</p>
委員長	<p>和島のすべての活動団体の受け皿となるように組織を考えて、活動している組織をどんな部会に分けていくかという事を検討することにした。事務局が用意してくれたたたき台はあるが、今和島にある団体を振り分けることが大事だと思っている。</p>
委員(佐々木清)	<p>資料の活動団体には初めて聞く団体の名前もある。活動内容も知らないのどの部会がいいかは判断できない。資料には事業や活動例が3つの部会で示されているが、4から5の部会が必要になるかもしれない。誰にでもわかりやすく部会や構成を考えた方が自分達にもわかりやすいし、構成団体も参加しやすい。</p>
委員長	<p>共通性のある団体で部会を作るとのことですね。</p>
委員(佐々木清)	<p>そうすれば活動団体もちょっと顔を出してみようかなとなる。部会を分けるのも良いが、事業内容や活動例を先に考えて団体をはめ込んでいった方が良い。</p>
委員長	<p>中村陽子さん、「民生委員の事業とは何ですか」と聞かれたときにどのようなことを考えますか。</p>
委員(中村陽子)	<p>健康福祉、高齢者の問題に関することになるのでしょうか。いろんな団体が活動していて、それぞれ共通の活動を行っている訳ではないが、例えば福祉関係の活動をしているところを集めれば、みんなが一緒になってまとまることができると思う。</p>
委員長	<p>児童クラブはどうですか。</p>
委員(早川亜由美)	<p>児童クラブは子育て、福祉の関係になると思う。</p>
委員長	<p>よさこいはどうですか。</p>
委員(佐々木理江子)	<p>よさこいはスポーツかなど。資料では子育てに分類されているが、参加者には子どもがいない人もいます。</p>
委員長	<p>よさこいって何と言われたときに子育てではなく、文化・芸能になるのではないかと。まずは活動例で一緒に団体をつないで、それがつながってきたときにまた違うつながりが見えて、そこで組み合わせを作るということもできる。活動を中心にコアを作り、部会に発展させていくとうまく回っていくかなと思う。</p>
委員(佐々木清)	<p>今は同じような活動のところを一緒にして、そこから上につないではどうか。</p>
委員(佐々木理江)	<p>少子化や高齢化など和島地域の課題をあげるのもコミュニティとして大</p>

子)	切だと思えます。
委員長	そのことも将来的にコミュニティセンターで考えることになると思う。集落にも人が少なくなってきた、少なくなった集落同士で一緒になるということもコミュニティセンターの議題になってくると思う。コミュニティセンターの役割が重要になってくるのはそういうところだと思う。今まで行政がすべて垂れ流しにしてきたサービスを、これからは住民のやりたいことだけに絞る時が来る。なぜかという、役所の職員が少なくなり、手が足りなくなって行政組織のうえでも今まで通りにできなくなってきた。だから住民のアクションに対して、パーフェクトに応えるためのコミュニティセンターであって、そのためにも長岡市はコミュニティセンターの運営をガンガンやっけていこうと進めている。しかし、今のコミュニティセンターは中途半端なものになっていると思っている。コミュニティセンターが将来どんな形になるかは誰もわかっていないが、和島のコミュニティセンターは後発なので、できれば他のコミュニティセンターの悪いところを学んで作れば良くなるのかなと感じている。
委員(平澤)	事務局案では和島は部会を3つにしてあるが、他のコミュニティセンターの活動内容を見るとどんな部会があるかわかる。長岡では健康とスポーツをセットで部会にしているが、和島は健康と福祉を合わせて部会としている。健康はスポーツとの関連が深く、体操などで体を動かすこともスポーツと同じではないか。
委員長	スポーツをどのくりにするかの考えはいろいろある。和島は生涯学習としてスポーツと一緒にしたのではないか。
委員(平澤)	和島の3つの部会の内容を整理することも検討する必要がある。事務局案は与板のコミュニティに近い内容、部会の構成となっているが、長岡のコミュニティセンターでは7つくらいの部会がある。その辺の活動内容を参考にして部会の構成を検討してはどうか。
委員長	活動例が示されているが、それが正しいかどうかの検討も必要である。和島地域の組織をもう一度分類し直す作業が必要と思うがいかがでしょう。 <<一同賛成>>
委員(平澤)	スポーツと文化を分けて、健康と福祉についても議論していかないと進まない、とりあえずスポーツと文化は活動内容が4つしかない、事務局からスポーツを追加してもらい、組織図を作り直してもらおう。そうすると次回の作業が早く進む。
委員長	まずスポーツと文化を分ける。長岡全体のスポーツ活動内容を見ると、健康スポーツで部会になっている。長岡のように健康をスポーツとくっつけてはどうか。
委員長	健康と福祉を分けて、スポーツはスポーツで分類する。そうすると議論

	<p>しながら分けられるかもしれない。今は5つに分けておいて、後でくつつくようであればくつつける。次回修正した組織図を見ながら検討しましょう。</p>
委員(佐々木清)	<p>事務局案にある構成員とは運営委員会のことか、役員のことか。</p>
委員長	<p>構成員というのは組織の活動団体のことである。バスケットボールクラブとかバレーボールクラブとか。活動内容でコアを作ると組織図がある程度見えてくる。今の内容で事務局から新しい案を用意してもらい議論しながら活動内容で分けてしまいたい。</p>
委員(佐々木清)	<p>話は変わるが、委員長が前の会議で他の地域のコミュニティセンターの失敗例を聞かせてもらいたいとお願いしていたが、資料はあるのか。ここにある資料には良い例しかない。</p>
事務局長	<p>いろいろ調べたが失敗の話は出てこなかった。各コミュニティセンターの実情を見たいという事であれば、実際にコミュニティセンターに行き話を聞いた方が良いと思う。</p>
委員長	<p>与板コミュニティセンターの資料には市から200万円の予算が出ていて、この予算から各活動に補助が出ていることが分かる。それと資料から与板はたくさんの企画があり、それを実行していることが分かる。コミュニティセンターから補助金をもらってやれることだから、〇〇教室もコミュニティに参加して構成員になると何かしらの補助が出るとも受け取れる。また、フェスティバルの時に何か一緒にしましょうという事にもつながる。それはすごいことだと思う。文化部会は参加費700円集めている。陶芸体験教室は500円取って10名の参加者があって補助金21,853円で実施したとされている、すごいことだと思う。参加費だけだと10人で5,000円、それだけでは体験教室は無理だから補助金を使う、だったら構成員になった方が良いとなる。</p> <p style="text-align: center;"><<与板のコミュニティ資料について意見交換>></p> <p>他になければ次回は事務局から資料を作ってもらい、構成員を振り分けることにしたい。事務局で次回開催の予定はありますか。</p> <p>(3) 今後の予定について</p>
事務局長	<p>9月を予定しています。</p>
委員長	<p>それでは3月までに何回の会議を予定していますか。資料のスケジュールではあと3回の予定ですが、3回で組織など決めるとなると相当頑張らないといけない。</p>
事務局長	<p>資料のスケジュールは最短で作られているので、この通りに進めることは苦しいと感じている。この通りに終わらないこともある。</p>
委員長	<p>コミュニティセンターの設置場所を含めて残り3回でまとめることは無</p>

	理である。今の目標として、活動内容から組織と構成員を作り出すことは最低限必要だと思うし、そこをまずきっちりとやる。部会の上の運営委員会は各部会から代表を選んでもらえば決まると思う。この組織をきっちり作っておかないと次の準備委員会が大変になる。
委員(平澤)	コミュニティセンターの設置場所は、今の施設との関係を踏まえてどこに設置するか事務局案はあるのか。
事務局長	事務局としては、コミュニティセンターの場所はここに決めますではなく、検討してこの場所が良いのではないかという案を検討してもらいたい。
委員長	児童クラブの移設など解決できていない課題もあり、コミュニティセンターの位置を決めるのは検討委員会とは別の話になるのではないか。
事務局長	いくつかの問題や課題を整理しながら、児童クラブの位置もコミュニティセンターと関連することになるので一緒に考えてもらいたい。今ある施設を活用することも検討しながら、コミュニティセンターの位置を話し合ってもらいたい。
委員長	他の地域ではコミュニティセンターを新しく造ることになったが、和島地域では新しく造ることは厳しいと思う。というのは、職員が減って和島支所の中がスカスカになってきているし、それをどうするんだという課題もある。
事務局長	それらを含めてご検討いただきたい。
委員長	いろいろな問題があるが、検討委員会ではコミュニティ組織に絞って検討を進めたいと思います。
委員(早川昌美)	コミュニティセンターは大事なものと理解したが、これを立ち上げるということで検討に入っていると考えると良いか。前回の会議を欠席したので確認したい。将来的に見てこの地域を活性化していくうえでもコミュニティセンターを作ることは大事なことだと思っている。事務局にお願いして和島地域の人口推移の資料を今回資料に加えてもらった。ここ5年間で子どもの数が相当数減っている。私の集落でも空き家の増加に、老人の一人住まい、老夫婦だけの世帯が増えている。そのことから共同で生活できる場所が将来的に必要なと思う。お年寄りも高齢になり車の運転に自信が無くなると免許を返納する人が増えてくるが、和島地域は車が無いと生活できない。それをコミュニティ組織で解決できるのかわからないにしても、行政にお願いしながら身近に子どもの声がして、お年寄りが暮らせる場所があって、大きくないがコンビニ程度のお年寄りが歩いて買い物ができるような地域であってほしい。自分もいずれその年代になるので、コミュニティセンターができた方が良いと思うし、そのためにコミュニティセンターを考える組織が必要だと思う。
委員(佐々木清)	和島地域の課題や問題を考えるのはコミュニティセンターが立ち上がってからでも良いと思う。今は組織を考えて立ち上げることを検討委員会

委員(早川昌美)	<p>で行い、今の話はその後のコミュニティ組織の中で考えてもらい、コミュニティバスを走らせるとか、地域の課題をどうするというのは、コミュニティの組織を構成する委員や部会で話し合い、地域の声を聞きまとめていくものと思っている。</p> <p>コミュニティの組織を作ることは良いことだと思っている。私は少年野球に携わっていて小学1年生から6年生を対象に活動している。最近自助努力では活動を継続していくことが厳しくなっている。近隣の学校との統合や中学校との統合が行われるか質問があったが、子どもの数が減少して、これから増加に転じることは考えられないので、子どもたちの活動を継続していくには組織も必要だが、何か早く手を打っていかないと何もできない。楽しくやっている子どもたちの活動を無くすのは本当に忍びないので、何とか努力していきたいと思っているが、そのような現状も知ってもらいたい。</p>
委員長	<p>コミュニティをどうするかという事は組織の一番大事なところで、地域地域に課題があるように、それを住民ベースで考えて解決していこうというのが元々の考えだと思います。コミュニティセンターといっていますが私はコミュニティが大事で、でもコミュニティをどうしていくのかというのは役所では考えられない。それは役所や行政にはコミュニティの情報がないから。でもそこに住んでいる人にはそれなりの情報があって、自分たちのコミュニティをどうやっていくかある程度分かっているはずなので、それを住民が組織の中で持ち寄って解決しましょうと。例えばまつりの問題とか交通の問題、学校の問題、それを市民ベースで議論していこうという集まり・組織がコミュニティセンターといわれている。将来につなげていける組織をきちっと作っても、コミュニティがどこまで育つかは誰もわからない。それは市民ベースの活動だから、やっている人たちが決めることなので、どういう形になるか予想できない。少なくとも和島は和島の人たちの受け皿がきちっとできるような組織を作れば良いと思っている。委員のみなさんと検討して、ある程度の受け皿を作り次の準備委員会へ渡す。準備委員会の人たちがうまく形を作ってくれるためにも、知恵を絞って考えていきたい。</p>
委員(早川昌美)	<p>小学校の統合というのは地域で解決できる問題ではないが、長岡市として将来どうするか聞いたかった。ここ5年で35名もの子どもが減っている。極端な減少ではないかもしれないが心配である。</p>
委員長	<p>長岡市全体を見れば、子どもが増えているところも減っているところもある。和島地域はどのように考えるか。コミュニティセンターを作ればその辺の議論も始まると思うし、寺泊、与板にもコミュニティセンターがあるので、コミュニティセンター同士で情報交換したり、何か一緒にしようかという事もできる。そういうことができる組織になってほしいと思っている。</p>
事務局長	<p>今回出欠を伺った際に、質問等をお受けしたが、今日は会議も長くなり、次回以降にお答えすることにしたい。いくつかの回答は今日の議論の中であったかもしれませんが、折を見てお答えする。</p>

委員長	今後の会議は3回開催の予定ですが、場合によっては会議が増えることもあると思う。
事務局長	検討委員会も始まったばかりで、議論が深まると当然スケジュールの通りに進まないことも考えられる。スケジュールは最短で作成したもので、必ずこの通りに進まないといけないというものではない。委員の任期は2年になるが、この間の御協力をお願いします。
委員長	組織の問題点をケアした組織にしたいと考えてる。組織は生き物なので直しながら成長していくもの。最初から変な組織にしてしまうと大変なので、他のコミュニティセンターの施設の見学や話を聞くなど事務局で計画してください。本日はお疲れ様でした。
9 資料等	別添のとおり